

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
101	川崎市立 千代ヶ丘 小学校	柴田 雅之

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<p>◎深く考える子</p> <p>◎思いやりのある子</p> <p>◎たくましい子</p> <p>〈めざす学校像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの中で自らの成長を実感できる学校</li> <li>・人とのかかわりの中で心を育む学校</li> <li>・心身の成長とともに健康・安全を大切にしている学校</li> <li>・地域・保護者とのつながりで子どもを育てる学校</li> </ul>	<p>○確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考える子</li> <li>・学び合い、高め合う子</li> </ul> <p>○豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考える子</li> <li>・お互いのよさを認め合う子</li> </ul> <p>○健やかな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心も体も大切にしている子</li> <li>・安心・安全に生活している子</li> </ul> <p>○地域に開かれた魅力ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともに育つ子</li> </ul>	<p>◇「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>◇カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>◇個別最適な学びと協働的な学びの実現</p> <p>◇合理的配慮・特別支援教育の充実</p> <p>◇校内・校外における研修の充実</p> <p>◇GIGAスクール構想の推進</p> <p>◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上</p> <p>◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践</p> <p>◆いじめ防止対策の推進</p> <p>◆行事・特別活動の充実</p> <p>◆道徳教育の効果的な実践</p> <p>◆人権尊重教育の効果的な実践</p> <p>◆共生＊共育の効果的な実践</p> <p>◆音楽活動・読書活動の充実</p> <p>◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実</p> <p>◇新型コロナウイルス等感染症への対応</p> <p>◇熱中症対策の徹底</p> <p>◇日常的な健康・安全教育の推進</p> <p>◇体づくり・体力向上につながる取り組みの充実</p> <p>◇チャレンジ精神と粘り強さを育む取組の充実</p> <p>◇危機管理体制の整備</p> <p>◆地域・保護者との連携・情報交換</p> <p>◆地域の人材・環境を生かした活動の再開・継続</p> <p>◆地域・保護者への情報公開・情報発信</p> <p>◆地域社会における役割を自覚</p> <p>◆50周年記念事業の推進</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策	
1	<p>◎確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考える子</li> <li>・学び合い、高め合う子</li> </ul>	<p>◇「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>◇カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>◇個別最適な学びと協働的な学びの実現</p> <p>◇合理的配慮・特別支援教育の充実</p> <p>◇校内・校外における研修の充実</p> <p>◇GIGAスクール構想の推進</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してきました。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」という3つの資質・能力をバランスよく育成することをめざしてきました。今後さらに教員の授業力向上を目指していきます。</p> <p>より効果的に教育活動を行うためにカリキュラムを工夫改善してきました。特に校外学習や行事、子ども同士のかかわり、地域の人とのかかわりなどにおいては、コロナ後の形を検討し、より充実した活動を実施してきました。</p> <p>個への対応に力を入れるときと協働的な学びを行うときなど、1時間の中でどのように授業を進めていくか、効果的な授業設計を工夫してきました。そして、メリハリのある丁寧な学習を心がけてきました。</p> <p>一人一人の教育的ニーズに対応できるように、困り感を見とり、対応していくよう努めました。取り出しや入り込みなどによる個別対応の充実も進めてきました。ユニバーサルデザインの環境づくりなども意識してきました。</p> <p>校内外における研究・研修の機会を大切にしてきました。学校として教職員同士の学び合いの雰囲気の高まりが感じられました。</p> <p>教員が積極的に端末を使って授業改善に取り組む姿が見られました。子どもたちも端末の活用に慣れてきていることが感じられます。</p>	<p>教員一人一人の授業力向上の意識を高め、学習指導要領の内容理解をもとに、学校全体として学び合い、高め合う体制をつくり、確かな学力の育成を図っていきます。</p> <p>年間のカリキュラムを見直しをもって進めていくために、長期的・短期的計画を立て、充実した教育活動を行っていきます。</p> <p>一人一人に応じた柔軟な指導を行っていくこと、GIGA端末の活用やグループ活動を通してともに学んでいくことを、授業の場面に応じて計画的・積極的に取り入れていきます。</p> <p>校内における人材を有効に活用し、児童一人一人の困り感に対応するとともに、すべての児童にとって安心することができる環境づくりをめざしていきます。</p> <p>職員の働き方改革についても念頭に置きつつ、研究や研修の時間の確保を図り、共に学び合い、高め合う体制づくりに取り組みます。時間を有効活用し、職員の自主研修「ちょこっと研修」という形で、研修を充実させていきたいです。</p> <p>GIGAスクール構想をさらに進めるために、様々な活用の仕方を情報共有し、教員一人一人が授業に積極的に取り入れていきます。</p>

2	<p><b>○豊かな心の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考える子</li> <li>・お互いのよさを認め合う子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上</li> <li>◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践</li> <li>◆いじめ防止対策の推進</li> <li>◆行事・特別活動の充実</li> <li>◆道徳教育の効果的な実践</li> <li>◆人権尊重教育の効果的な実践</li> <li>◆共生*共育の効果的な実践</li> <li>◆音楽活動・読書活動の充実</li> </ul>	<p>子ども同士による、温かい言葉のやり取りや、教員による価値づけなどにより、よいところを積極的に認めていく学校の雰囲気大切にできました。それが自己肯定感の向上や他者意識を高めることにつながったと思います。</p> <p>キャリア在り方生き方教育においては、かかわる力・自分を見つめる力を養うことを目標に、キャリア在り方生き方ノートやキャリアパスポートを活用しながら取り組んできました。</p> <p>定期的に生活アンケートをとったり、児童の言動をきめ細かく見たりしていくことで、いじめの未然防止に努めました。心配なことがあれば、教員間で情報共有し、学校全体で対応してきました。</p> <p>行事や特別活動においては、児童の主体的な活動になるよう、その取組を教員が支えていきました。</p> <p>「特別の教科 道徳」となり、考え議論する道徳に取り組んできました。道徳科で学んだことを日常生活の中の道徳教育に生かしてきました。</p> <p>いじめや差別を許さない心や多様性を認める心を育ててきました。そして、一人一人を大切にすることを通して人権尊重の精神を養ってきました。</p> <p>共生共育においては、効果測定を行い、結果を見取り、クラス経営に役立てました。</p> <p>歌うことや演奏すること、本を読むことが好きな児童が多く、スクールバンドやスクールコーラス、読み聞かせなどの活動を充実させてきました。</p>	<p>これからも、学校全体であいさつや言葉遣いを大切にしていきます。よいところを認め合える雰囲気を学校全体に広めていきたいです。</p> <p>来年度の創立50周年・市制100周年を良い機会として、わたしたちのまち川崎(千代ヶ丘)という郷土を愛する気持ちを育むことにも力を入れていきたいです。</p> <p>いじめにつながることに対しては、職員みんなで敏感に察知していくよう努めます。アンケートなどの情報収集や、気になることなどの情報共有に努めていきます。</p> <p>クラブ活動や委員会活動、学校行事において、子どもの主体性を尊重し、その活動を支えていきます。</p> <p>ふれあいにじぶじ道徳や道徳の授業公開により、道徳での学びを保護者とも共有し、児童の心の成長につなげていきたいです。</p> <p>違いを認め、お互いを尊重し合える学校・学級づくりをしていきたいです。</p> <p>共生共育を通して、集団の人間関係や一人一人の気持ちを理解することに努め、学級経営に生かしていきたいです。</p> <p>スクールバンドやスクールコーラスの活動を、職員の働き方の工夫の上で充実したものにしていきたいです。</p>
3	<p><b>○健やかな心身の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心も体も大切にする子</li> <li>・安心・安全に生活する子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実</li> <li>◇新型コロナウイルス等感染症への対応</li> <li>◇熱中症対策の徹底</li> <li>◇日常的な健康・安全教育の推進</li> <li>◇体づくり・体力向上につながる取り組みの充実</li> <li>◇チャレンジ精神と粘り強さを育む取組の充実</li> <li>◇危機管理体制の整備</li> </ul>	<p>児童や保護者の悩みや不安への窓口として、支援教育コーディネーターの周知に努めました。そして、問題や課題に対して学校全体で対応することができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類への移行とともに、制限のほとんどない教育活動を行ってきました。しかし、インフルエンザの大流行など状況に応じて感染症への対策をとってきました。</p> <p>水筒を持参するなど安心して水分補給ができるようにしました。熱中症指数計測器を利用し、活動前の判断基準とし、熱中症予防を行ってきました。</p> <p>養護教諭を中心に児童の心身の健康を保つために日常的な指導を行ってきました。何かあった時の校内の連携体制も整えました。避難訓練は、計画的に様々な状況を想定して行ってきました。自分の命も周りの人の命も守るための行動を意識させてきました。</p> <p>体育の学習やキラキラタイム、休み時間の外遊びの充実により、体力向上に努めました。学校栄養職員と連携した食育も効果的でした。</p> <p>本校児童の傾向として、言われたことは真面目にすることができるが、自分から「やってみよう」という気持ちが弱いことが課題となっています。そこで、学習においても、行事などにおいても自分から行動する機会を意図的に作るようにしてきました。少しずつチャレンジ精神や粘り強さが芽生えてきています。</p> <p>校舎の老朽化が目立つため、施設・設備の点検・修繕に努めました。危機管理マニュアルに基づいて校内体制の確立に努めました。未然防止・早期発見・初期対応を確実に行って行ってきました。</p>	<p>支援教育コーディネーターの存在やその役割を児童や保護者にさらに周知していき、児童支援の体制をしっかりと構築していきたいです。</p> <p>今後も、感染症の流行は予想されるので、日常の手洗いや換気などの指導をしっかりと行い、その状況に応じて感染拡大を防ぐために臨機応変に対応していきます。</p> <p>児童・職員ともに熱中症への意識を高め、熱中症指数計測器を利用し、明確な基準を示すとともに、児童の様子をていねいに見とることで予防に努めていきます。水筒の持参も継続します。</p> <p>児童の健康・安全を第一に考え、予防のための指導を日常的に行い、何かあった時の校内体制をさらに整えていきます。養護教諭による授業や避難訓練などを計画的に行っていきます。</p> <p>児童の主体的な活動によって、体力向上に向けた運動に親しむ取組がより活性化するような工夫を積極的に行っています。校庭開放プロジェクトも子ども達の外遊びの機会となればと思っています。学校栄養士と連携した食育も継続していきます。</p> <p>行事や特別活動を中心に、学習の中で自らの意思でチャレンジする気持ちを育てていきたいと思っています。そのために「やってみよう」と思った児童に対して、教員の丁寧な支援を心がけていきます。</p> <p>児童の安全に関わることは、気が付いたことがあればすぐに対応していきます。危機管理マニュアルを見直し、未然防止・早期発見・初期対応を確実に行っていくことができる体制を整えます。</p>

4	<p><b>○地域に開かれた魅力ある学校づくり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域・保護者との連携・情報交換</li> <li>◆地域の人材・環境を生かした活動の再開・継続</li> <li>◆地域・保護者への情報公開・情報発信</li> <li>◆地域社会における役割を自覚</li> <li>◆50周年記念事業の推進</li> </ul>	<p>学校運営協議会や地域教育会議、千代小コミュスク会議において、直接地域の方とお話しすることによって、学校との関係づくりを行ってきました。ご理解・ご協力をいただき、感謝しています。</p> <p>地域学習で再開できるものは再開してきました。直接地域の人から学ぶ機会を大切にしてきました。多くの方に学校教育ボランティアとしてご協力いただき、感謝しています。</p> <p>学校だよりや学年だより、学校HPなどにより、情報公開を行ってきました。また、ミマモルメによる情報発信も行い、迅速に確実に連絡できる体制も作ってきました。</p> <p>学校は地域の様々な活動の拠点になっていることを自覚し、地域教育会議、避難所運営会議、施設開放、地域自治会夏祭りなどの役割を担ってきました。</p> <p>来年度の50周年記念事業に向けて、実行委員会を立ち上げ、少しずつ活動を始めました。地域の方々のご協力をいただきながら、子ども中心の記念事業を考えています。</p>	<p>地域・保護者の方々のご協力に感謝し、今後も良好な関係を築いていくよう努めます。そのためにも、日ごろから挨拶をはじめ、感謝の気持ちを伝える機会を作るなど、積極的にコミュニケーションをとっていくようにします。地域行事などへの協力も可能な形で行っていきます。</p> <p>実際に地域に出て、地域に暮らす人たちの声を直接聞くことはとても有意義な活動だと考えています。また、学校に来ていただき、児童とコミュニケーションをとる中で学習に協力していただくことも大切なことだと考えています。カリキュラムの中に地域とのかかわりを効果的に位置付けていきます。</p> <p>今後も本校の教育活動をご理解いただくために、効果的な情報公開・情報発信の方法を検討していきたいです。紙媒体とネットの活用を考えていきます。</p> <p>今後も地域の方々への期待にこたえられるように、誠実に地域の方々と向き合っていきます。地域と共にそこに住む子ども達をしっかりと育てていきたいと思っています。</p> <p>創立50周年と川崎市制100周年を絡めながら、千代ヶ丘小学校を、そして、千代ヶ丘の町を、さらに麻生区、川崎市を今まで以上に好きになるような活動を進めていきたいです。</p>
---	---------------------------------	--	--	---

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが大変落ち着いて授業を受けていた。</li> <li>・先生方の努力が感じられた。素晴らしいと感じた。</li> <li>・4年生の福祉学習が興味深かった。難しいテーマだが子どもたちなりに熱心に調べて学習していた。</li> <li>・学校全体の様子が落ち着いている。1年生ももうすっかり落ち着いている。</li> <li>・クラスや担任によってカラーがある。</li> <li>・千代ヶ丘の子はたくましいエネルギーがあり、授業もよかった。</li> <li>・あいさつがしっかりと出来ていた。</li> <li>・3年生のSOSの出し方受け止め方の学習は難しい内容だが、3年生なりに一生懸命考えていた。</li> <li>・休み時間の様子が見られてよかった。それぞれ自分のやりたいことに落ち着いて取り組んでいた。</li> <li>・折り紙、読書、GIGA端末など、子供達が主体的に自分のやりたいことを工夫して中休みを過ごしている。</li> <li>・子どもたちの聞く力が育っていると感じた。先生も大声ではなく、落ち着いた語り方で、それを子どもたちがよく聞いていた。</li> <li>・先日地域教育会議の子ども会議があり、そこでも子どもたちが聞かれたことに対して、固まることなく答えることができていた。その姿はこのような学習の中で培われているのだと感じた。</li> <li>・人権やSOSなど難しい内容だが大切なことである。それを子供達が互いに伝え合う姿が見られた。</li> <li>・休み時間の過ごし方を見ていると、学年の発達段階により様子が変わってきて興味深かった。</li> <li>・校長先生の話の中にも「自己肯定感」という言葉が出ていたが、授業の中でも自己肯定感を高めるための先生の声かけ等があり、このように培われていくのだと思った。</li> <li>・教師席の置き場が後ろにあったり横にあったりと工夫されており、感心した。</li> <li>・授業態度が真面目。</li> <li>・1年生⇒6年生へと、子供達の成長が見られる。</li> <li>・どの学年も人間関係の中で楽しく過ごしている様子だった。</li> <li>・GIGA端末の活用が広がり、子どもたちが使いこなしていることに驚いた。特に4年生では、図工の学習でGIGA端末を利用するという姿には驚き、昔では考えられないことだと思った。</li> <li>・どの学年、どのクラスでも落ち着いて授業が行われ、子どもたちも恥ずかしがることなく発言していた。</li> <li>・休み時間もイベントのためのお花作りに参加している子もいて主体的に活動している様子が見られた。</li> <li>・子供達の地域の行事への参加が多く、喜んで参加してくれている。コロナでできていない期間もあったが、もっと地域行事を行えば、もっと喜んで参加してくれる子達になると思う。</li> <li>・放課後や土日など地域の中でも子どもたちが落ち着いて過ごしている様子。</li> </ul>	<p>5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、それに伴い学校生活や教育活動における制限がほとんどなくなりました。マスクを外して元気に活動する姿、グループになって共に学び合う姿、学校外に出て地域の方から学ぶ学習、学校に講師をお呼びしての学習など、コロナによって控えていたものを再開させることができました。しかし、単に以前の形に戻すのではなく、より良い形を再構築していくことを大切にしました。そのような活動が子ども達の学びの充実につながったと思っています。また、運動会や授業参観、その他の行事において制限なく保護者や地域の方をお呼びすることができるようになったこともとても良かったです。コロナにより閉鎖的になっていた学校が、また、皆さんに開かれるようになりました。これからも、地域・保護者の皆様とともに学校教育目標にあるように子ども達の知・徳・体をバランスよく育んでいきたいと思っています。</p> <p>次年度に向けては、子ども達の主体的な学びにつながるよう、授業改善に努めていきます。そして、学習のさらなる充実を目指します。また、学校が、安心・安全な場所であるようにルールや約束を大切にしつつ子ども達一人一人をしっかりと見ていきます。危機管理をしっかりと行っていきます。また、50周年という節目に、子ども達の記憶に残る活動を展開していきたいと考えています。</p>